



失敗しても挑戦できる ～ピンチはチャンス～

中学校副校長

1か月前の話になりますが、ある店の片隅の会計レジカウンターをふとのぞくと、1枚の紙に注目してしまいました。その紙には「失敗しても挑戦できる」と書かれており、続けて『〈受容〉、〈反省〉、〈謝罪〉、〈改善〉、〈感謝〉』の文字が並んでいました。

私の頭の中で浮かんできたことは、「失敗しても挑戦できる ～ピンチはチャンス～」でした。失敗は誰にでも起こることです。失敗してはいけないと、プレッシャーをかけてしまうと大切なチャレンジ精神を失うこととなります。命にかかわるような大失敗は絶対にやってはいけませんが、自分の成長のためになる失敗は、恐れることなく向かうことも時には必要です。

- ① 大切なことを失敗したときにその失敗を受け入れ — 〈受容〉
- ② 何がよくなかったのか振り返り — 〈反省〉
- ③ 迷惑をかけた相手がいれば謝り — 〈謝罪〉
- ④ 次はどうすればよいかを考え — 〈改善〉
- ⑤ この失敗があったから自分は成長できた、次も頑張ろうと前向きに挑戦する気持ちに切り替えること — 〈感謝〉

① ～ ⑤ のことが、失敗から学ぶということなのだと思います。店長さんに「失敗しても挑戦できる」と書かれている紙を、会計レジの片隅にひっそりと貼ったのかと聞いてみると、あくまでもこれらの言葉は、日々の自分自身の心のもちようであって、『〈受容〉、〈反省〉、〈謝罪〉、〈改善〉、〈感謝〉』の文字を人に押し付けることではないと答えてくれました。

最近、学校や寮生活の中で、約束ごとが守れなくなってしまう失敗、授業で課題が解けずに悔しさが怒りにかわって自分を見失い、周囲に迷惑をかけてしまう様子などが見られます。

運動会が終わって、今までの疲れが出て心身のバランスを崩すことが心配されます。日頃から適度に睡眠を摂ること、栄養のバランスがよい食事を3食きちんととるなど、意識をして健康的な生活を過ごすように心掛けてください。そして、何か心配ごとがあるときは、一人で抱えずに早めに相談してください。東小中学校の先生方全員で受け止めて一緒に解決方法を考えていきます。

安全教育 セーフティ教室 ～情報モラル教育～

10月1日（水）セーフティ教室を行いました。今回のテーマは「インターネットと安全～かけがえのない自分を大切にするために～」でした。今や私たちの生活に欠かすことのできないものとなったインターネット。大変便利である一方、使い方や付き合い方を間違えてしまうと、トラブルに巻き込まれ、被害者になったり、または加害者になったりしてしまふことがあります。一人一人が正しい付き合い方をよく考え、普段から実践していけるようにしていきましょう。

動画の内容は「ネットの募集情報、手を出して大丈夫？」というタイトルのもので、最近ニュース等でも見かけることの多くなった「闇バイト」について触れられていました。このことは決して他人事ではなく、身近なものとして捉え、適切に対処できるような心構えと知識を身に付けていってほしいと思います。

動画を見終わった後の皆さんの感想の中には「知らなかったでは済まされないこともあるので、正しい知識が必要だと感じました。」というものがありました。周りの頼れる大人に相談していくことと併せて、インターネットとの正しい付き合い方についても、考えを深めていってほしいと思います。

優勝 紅組 179 点
白組 149 点

『スポーツの秋』にふさわしい気候で、天気にも恵まれ、練習から気持ちよく取り組むことができました。

小学生の演技『南中ソーラン』は、ニシンの沖上げ漁の様子が力強い動きと声から伝わってきました。本番では、心を一つに“全力”で最高の演技を見せてくれました。

中学生男子の『集団行動』は、全学年そろっての練習時間が少ない中、例年よりも多い生徒数、突然のフォーメーション変更、十分な練習時間が取れない中での当日でした。予行までは上手いかない日々が続きましたが、本番は全員が最高の集中力とやる気で多くの人に感動を与える演技ができました。今年から集団行動に加え、ニュージーランドの民族舞踊である『ハカ』を取り入れました。力強い動きと声で見ている人に感動とパワーを与えることができた本番でした。

中学生女子のダンスは、『僕の運転手、僕。』の曲で、始めから最後まで楽しさ溢れるダンスを披露してくれました。踊りの華やかさもさることながら、全員が笑顔で踊る姿は見る人の心に元気と感動と爽やかさを届けてくれました。

1500mを走るクロスカントリーは、新しいコースになってから2度目の実施。長い距離に抵抗を感じる人も多くいましたが、自分と向き合い踏ん張って、頑張って走りぬきました。今回は去年を上回る新記録が生まれるほどの熱戦が繰り広げられました。

最後の競技種目紅白対抗リレーは、緊張と疲れの中でスタートしました。選ばれた責任をしっかりと受け止め、大きな返事と懸命な走りで見ごたえのあるラストを飾ってくれました。

高等部の生徒については、自分たちの出番が少ないにも関わらず、小中学生が気持ちよく運動できるように、用具や放送といった裏方でたくさん支えてくれました。

100m走やクロスカントリーでは、頑張っている人を応援する姿が多くみられました。綱引きでは、結果的には紅組の勝利に終わりましたが、互いに全力を出し、熱戦を繰り広げてくれました。最後のエキシビジョンマッチでは高等部・寮の先生の応援も加わり大いに盛り上がりました。

『自分ができる精一杯を出し切る』がよく見えた、とても良い運動会でした。

最後に、励まし、支え、最後まで応援してくださった学園の先生方をはじめ、お手伝いをしてくれた高等部の皆さん、関係の先生方に感謝申し上げます。